



江別のみなさん、こんにちは。
10月です！。そろそろ紅葉が始まる季節になりました。
これからは食の秋！、快適にすごせる季節です。
でも、ちょっと涼しくなり安心してると
食中毒にかかる可能性が高くなります。
食べ物の保存には十分注意が必要です。

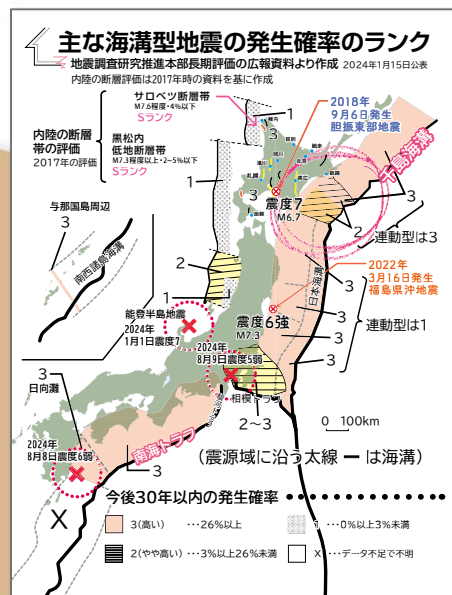
代表取締役社長 石崎 昭仁

東京防災へ



防災準備を
始めましょ
う！！

起き続ける、災害！。地震だけではありません。



先般、カムチャツカ半島沖で大規模な地震が発生し、その影響で北海道にも津波が来ました。前回の夏号では、江別近郊の断層による地震の可能性について記載しました。

起き続ける災害。最近では地震が多く発生し地震に対する準備を再確認させられる事が多くなりました。しかし災害は地震だけではなく、水害、干ばつと多岐にわたります。

平均気温と 降水量の比較 出典：気象庁	2024年		2025年	
	平均気温℃	降水量の合計mm	平均気温℃	降水量の合計mm
5月	12.6	49	13.0	53
6月	17.7	43.5	18.7	34.5
7月	22.2	107.5	24.1	69.5
8月	23.5	163.5	23.3	92.5

今年の暑さは尋常ではなく、エアコンをお持ちのお宅はフル稼働！
って感じでしょうか？。地球温暖化の影響か？かなり平均気温は高くなっています。江別の平均気温は・・・上記表の通りです。この表で見ると、7月の平均気温は昨年と比較すると約2℃程高くなっています。2℃と言うと、たいした事ない様に感じますが、5月から3ヶ月間で上昇、かなりの気温上昇です。地球温暖化の影響は色々な要因があり単にCO₂発生、オゾン層破壊などだけではないと思います。東京方面、札幌市内ではヒートアイランド現象なども影響していると思います。

さて自分たちでどうにも出来ないのは自然災害ですが、ただ自然災害の要因となる、地球温暖化を防止するための一要因である、建物の高断熱化については、私たち建築関係者が貢献できる分野ではないかと思っています。江別では商工会議所のリフォーム支援など、また国では子育て家族への住宅支援、窓リノベなど既存住宅への窓断熱などの支援が行われています。上手く活用し、冷暖房のエネルギー消費量削減に貢献したいものです。

また健康面でも、この温暖化により最高気温が上昇し、とくに筆者を含め高齢者は、暑さに鈍感になってきているのも事実です。脱水は直接生命への危険も脅かします。周りの若い方もお年寄り、小さなお子様への気配りが必要ですね！。万が一脱水を起こした時の緊急処置として体を冷やす、また水分を取る、特にこの水分ですが、美味しくはありませんが、自宅で作る事が可能です。砂糖20g 塩1.5gを水500ccに溶かし補給する事が良いとテレビなどで放送されていました。これからは涼しい季節になりますが、秋も脱水には注意が必要です。ちょっとした豆知識を持つ事により、万が一の時に使えると思います。



さてこれからは秋になり、朝晩の気温が低くなっていきます。ここで問題なのは・・・冬場のヒートショックです。このヒートショックはもうお馴染みの言葉となりましたね！。

高断熱高気密住宅があたり前になったこの時代では、あまり気にしなくなってきました。しかし落とし穴は浴室にあります。家全体が暖かく、温度差の少ない住まいになってきましたが、浴室でヒートショックを起こし溺死する方が増えている(厚生労働省発表)ようです。熱いお湯(42℃以上)に浸かる事で、血圧が急激に下がり、気を失い溺死する様です。この状況も過去からアイホーム通信でお伝えしてきました。これから皆さんの周りで起きる可能性のある危険インシデントです。他人事と受け止めず、ぜひご注意ください。特に高齢者の方は十分ご注意くださいね！。ヒートショックを予防するためには、まずはヒートショックについて理解する事です。大丈夫!と過信せず、まずは脱衣室の室温を測り、室温が20℃以下になっていないか？調べてみましょう!!。

200V 洗面室暖房機
後工事で取り付ける事が可能な暖房器具です。洗濯物落下による火災などの心配が少ない商品です。



これから迎える冬に向け、脱衣室に暖房器を設置するなどの工事も有効です。

今は色々な暖房器があり、電気代高騰の折、なかなか薦めづらいのですが、電気暖房器が安全だと思います。特に高齢の方は灯油ストーブなどは洗濯物がストーブの上に落ちて火災になるなどの事故がよく報告されています。いずれにせよ、ご家族で防災(自然災害、またヒートショックなどの人為的事故)についてお話し、これからの暮らしを安全に過ごせる様にすることが必要と思います。下記に何度も掲載していますが、災害時にまずはご自分の身を守る行動、そして日頃の準備を雪が降る前に再点検されてはいかがでしょうか？。



参考基となるサイトのQRコードを表記しますね！。こちらのサイトからスマホで読み込み内容をご覧ください。



東京都防災アプリのQRコードです。ここからスマホにアプリをダウンロードしてご使用ください。



参考グッズ

